

広報 南丹

こうほうなんたん

2023
10-11
Vol.121

Nantan City Public Relation



特集

想い愛♡支え愛

愛を育む街



//contents//

- ・数百年ぶりの凱旋公演 能の名家・梅若家
- ・市長と語ろう・私たちのまちづくり
- ・南丹市役所中央庁舎が完成

(左から)山田孝之さん、桃果さん、
武田玲奈さん、アオイヤマダさん、
石橋義正監督



【特集】

想い愛♡支え愛 愛を育む街

南丹市には輝きを放つ魅力が数多くあります。その魅力をより輝かせるためにたくさんの愛情を注ぐ人たちがいます。本号では、愛をテーマに南丹市の魅力を紹介します。

topics
01

南丹市への愛が溢れる映画撮影

南丹市で映画祭が開催

9月16日、アスエル園部およびり溪高原を会場に、南丹市の美山・芦生の森で撮影された「唄う六人の女」が初上映されました。

り溪谷の野外ステージでは、日差し照りつける中、山田孝之さんを初めとする豪華キャストが南丹市を盛り上げるべく登壇いただきました。

トークセッションでは、キャストの方々撮影で感じた南丹市の魅力を披露。山田孝之さんは美山で食べた鮎に、監督の石橋義正さんは南丹市の地酒に舌鼓を打ったと話され、会場は大いに盛り上がりました。



トークセッションを行う山田孝之さんと石橋義正監督。撮影の裏話や南丹市のお話が出ると観客席からは大きな歓声が上がりました。

慈愛に溢れる撮影に感謝

映画の撮影地となった芦生の森は、京都大学が環境の保全と、教育研究を目的に長年保護してきた森です。そのため、監督の石橋義正さんは

「脈々と受け継がれてきた南丹市の美しい自然を守ることが重要であり、足を踏み入れてもよい場所や触れていい植物が決められており慎重に撮影に挑みました。」と南丹市の自然への想いを話していただきました。

主演の山田孝之さんは、沖縄出身で自然の多い環境で育ったこともあり、自然には愛着があるそうです。一方で、今回、山田さんが演じた役は虫や自然に嫌悪感を抱く設定。撮影の苦労を次のように話されました。

「役作りでは、自然を嫌いになるように自分に言い聞かせていたのですが、一日の撮影が終わると森の樹に手を当てて、つらく当たってしまったってごめんねと声をかけていました」



り溪高原での映画上映会。参加者からは「映画に出てくる森に自分も迷い込むような錯覚を覚えた」と絶賛する声も。

Love



会場は大盛り上がり!! /

豪華俳優陣が南丹市に勢揃い



- ①豪華キャストによるトークショーが開催。女優のアオイヤマダさんは南丹市の鮎がプリントされた紫の衣装で登場。
- ②映画の主題歌を担当した「NAQT VANE」 Harukazeさんによるスペシャルライブの様子。
- ③山田孝之さんのSPに扮するのは、なんと有名動画クリエイターのはじめしゃちょー!?



圧巻のパフォーマンス!!



③山田さんのSPははじめしゃちょー!?

南丹市の森を通じて世界に愛を

映画「唄う六人の女」では、自然から遠ざかった現代の人々に対して、自然を愛でる「心」や自然界における「人の役割」を問いかけています。女優の桃果さんは、映画を見る人へ向けて

「自然があるから人がいる。そのことを、映画を通じて皆さんに思い出して欲しい。そんなきっかけになれば」とメッセージを送ります。

南丹市で愛をもって撮影された映画「唄う六人の女」は今年10月27日全国公開。南丹市の誇る自然の風景を是非劇場でご覧ください。

第二回

フィルムコミッション(映像制作を支援する非営利団体)って何? ~なぜFCは全国で増えている?~

現在、フィルムコミッション(FC)は全国で設立され、400団体に迫る勢い。なぜ増え続けているのでしょうか?

それは、映像制作者とFCの協力で、作品を通じてその地域の知名度、ブランド力をあげることが期待できるから。FCの活動により地域で撮影される作品が増えれば、ロケ地の風景は全国のより多くの人々に届けられます。さらに、ロケ地に興味を持ったり、実際に訪れる人も増加中。

話題作のロケ地には多数の人が訪れ「聖地」と呼ばれる人気の場所になったところも。地域活性化の可能性を高めていくためにもFCの活動が求められているのです。



南丹市フィルムコミッションアドバイザー 藤井真也さん

丹波猿楽の名家・梅若家一門

数百年ぶりの 帰郷



故郷の愛が里帰り公演を実現させる



南丹市がゆかりの土地であるという能の始まりの一つ、名家梅若家。能楽師としてだけでなく、数多くの公演のプロデューサーとしても活躍される梅若長左衛門さんに南丹市への愛をお聞きしました。

南丹市と梅若家にはどんな縁が？

安土桃山時代に日吉の殿田を治めていた梅若家。「明智の家臣だったことから、本能寺を契機に、敵対していた秀吉の時代には脇に隠れ、石高を減らされる不遇の時代を迎えます。その状況を打開するために、殿田を出て家康を頼りに江戸に拠点を移しました」

こうした経緯から「殿田が梅若家の発祥の地」として特別な縁を感じていると話されます。殿田には梅若家の屋敷跡や曹源寺には代々の位牌も残されており、江戸に移ってから参拝を続けているそうです。



▶悲願の凱旋公演の様子。小野小町の艶やかな所作が美しい。

地域の応援に心を動かされた

南丹市では梅若の能を盛り上げようと「世木伝統芸能を守る会」が活動を続けてきました。活動の内容は、梅若家に関する冊子を発行することにはじまり、梅若家の屋敷跡の修復にも尽力しました。屋敷の修復に際して、時には橋を植えている中、鹿に食べられ、荒らされてしまうなど、数々の苦労があったようですが、木を一本一本伐採し、井戸を掘るなど梅若家の方々がいつでも帰ってこられる「故郷」を築き上げました。こうした南丹市民の愛を受けて長左衛門さんは「南丹市で梅若家や能を盛り上げようという気風が高まっており嬉しく思います」としみじみと語りました。



↑世木の伝統芸能を守る会が発行した冊子「世木と梅若と能」。梅若家の歴史と歩み理解することができる重要な資料となっています。

南丹市で
舞うなら
この曲を!

梅若家の得意曲を披露 /

「通小町」のあらすじをちょこっと解説



修行の最中小町の郷を訪ねたお坊さんが目にしたのは…

驚いたことに、女性は自身を小野小町の亡霊なのだと云います



実は小町の霊は救いを求めてお坊さんを訪ねていたので

小町の霊と小町に付きまとう恐ろしい亡霊の姿



あなた様は一体?

私は小野小町と申すものです



あるお寺でお坊さんがお籠の修行をしていました

そこに毎日、色々な木の実を積んで持ってきてくれる女性がおりました



修行の間は、五穀を食べられないので助かるな…

次第にお坊さんは女性のことが気にかかるとようになります

「物語の解釈は一人一人違っていい」

ちょっと
小話

「太鼓持ち」の言葉は能が由来

芸者さんの世界では太鼓を持つ男の人達がいました。芸者さんは多忙で予定がオーバーブッキングすることもあり、その間に太鼓持ちが次のお客さんのところに先に行ってお小咄をして楽しませることから、面白いこととすうよとを太鼓持ちというようになりました。能の演目は長い時間、人が太鼓を持つと大太鼓を代わり、太鼓を支える人型の支えを作ったそうです。

9月10日、日吉の生涯学習センターで「能楽レクチャー」が開催されました。これは、能について詳しくない人が凱旋公演をより楽しんでもらえるように企画されたもので、能のルーツや梅若家の歴史を解説。参加した地元市民らは能に使われる楽器を体験し、より能を身近に感じることができました。

能に親しみを持って欲しい



↑小鼓を体験する地元の市民ら。「簡単そうに見えて難しい」と音を鳴らすことに苦戦する様子。

長左衛門さんは能は決して敷居の高いものではないといえます。「南丹市の皆さんは、能をご覧になったことはあるでしょうか?歌舞伎はあるけど能はないという方も多いかもしれません。能というものは、どういふ風に見るか感じるかを決して強要しません。見る人が舞台のストーリーと自分の人生を照らし合わせて、一人一人の中で違う解釈があつて構いません」

レクチャーの参加者は「梅若家の皆さんが、わざわざ東京から南丹市へ講演をしに来ていただいたり感激しました。南丹市の誇りとしてこれからも応援したい」と話していました。

悠久の刻をこえ



この愛が永遠に
満たされてあらんことを。

数百年ぶりに、南丹市での凱旋公演を果たした丹波猿楽の名家・梅若家一門。

アスエル園部に用意された席は全て完売。会場に集まった観客は、梅若家一門が織りなす艶やかで幽玄なひとときに酔いしれました。

伝統を次世代へ

昨年、南丹市立殿田小学校から三年生の学習発表会に向けて謡や仕舞を教えてほしいという依頼があり、長左衛門さんを筆頭に梅若家の一門が児童を対象にレクチャーをされました。児童の印象について長左衛門さんは

「小学生の郷土の歴史を学ぼうとする意欲や大変熱心に稽古に励む姿に感銘を受けました」と説明。同じく、殿田小学校でレクチャーをした梅若家一門の井上貴美子さんは

「学習発表会当日にはうかがえませんが、後日映像をお送りいただき、児童の皆さんが一生懸命にはつらつと発表してくれた舞姿に感動致しました」と喜びを語ります。

梅若の「能」が受け継がれ、発展していく輝く未来がうかがえます。

⑥



巡り合ふ縁

④



⑤



⑦



①〈翁〉能にして能にあらずと呼ばれ、神事として演じる演目。②〈船弁慶〉亡霊・平知盛が海から出て薙刀を振り、源義経を海に引きずり込もうとする。③〈芦刈〉元々梅津と名乗っていた梅若家。御土御門天皇の前で若干16歳の梅津景久が「芦刈」を演じた際に若くして良い演能を舞ったということで「若」という字を賜った。梅若家にとって特別な曲。④馬の皮を使って作られた小鼓。雨が降る音や暗闇の静寂を表現することが多い。⑤〈通小町〉観阿弥作といわれる能。亡霊・小野小町と深草少将の想いが画策する能。⑥〈察化〉太郎冠者と主人の軽快なやりとりが特徴の狂言。⑦〈羽衣〉天女と人間の恋物語を元にした曲。

どこか懐かしい感じがする

長左衛門さんは、今回の凱旋公演の成功を受けて、「これからも数年に一回はこうした本公演を南丹市で開きたい」と強まる南丹市への想いを語ります。これは梅若家を応援し続けてきた南丹市民の想いが通じたからではないでしょうか。その何よりの証として、南丹市での公演について「どこか懐かしい感じを覚えた」と話します。この言葉には南丹市が梅若家ゆかりの土地であるという意味だけでなく、いつでも歓迎され帰ることのできる故郷として実感されたからではないでしょうか。南丹市はこれからも梅若家への愛が育まれることを願っています。



↑凱旋公演の最後に、人間国宝である梅若実桜雪さんに花束を渡す殿田小学校の児童。



市長と語ろう

私たちのまちづくり

8月24日、市立の小、中学校11校の代表者が「地域について学んだことと紹介したいこと」「地域について学んだことで、将来の南丹市政に大切にしてほしいこと」をテーマに市長と語り合いました。発表では、タブレット端末を巧みに活用しながら、授業で学んだこと、それをもとに考えた南丹市の未来像や、その未来を実現するためのアイデアを市長に提案しました。



●内田 萌結(八木西小)
「地域の方との温かな関係が続くように、あいさつを通して人とつながりを大切にしていきたい。」

八木の町は、自然の多さ、町並み、ゆうゆうと流れる大堰川が町の魅力。PTAや地域のみなさんとのつながりも魅力で、地域の方と一緒に田植えやしめ縄づくりを体験し、学習をすることが楽しい。



●青木 朱莉愛(八木東小)
「将来の夢は警察官。笑顔あふれる八木町がいつまでも続くように、貢献していきたい。」

地域の方としめ縄づくりや出汁の文化を体験したことで、地域の方の温かさ、優しさに触れ、「もっと地域の人と触れ合いたい、関わりたい」と思うようになった。また、「大きくなったね」と声をかけてもらい、自分たちの成長を感じ、見守られていると感じている。



●秋田 祉恩(美山小)
「みんなで協力して植林や間伐等の手入れをすることで美山町の森林を守っていきたい。」

森林所有者の高齢化等が原因で人手不足となり、手入れができていない山が増えている。美山では、木こり体験や植物調査、森林組合による間伐を通して森林を守る活動が行われている。美山の森林を守っていくためには、山の整備方法を見直すべきだと思う。



●小島 うた(胡麻郷小)
「2学期には学校運営協議会の方との熟議にも参画し、新たな学びに繋がりたい。」

地域の方と「つながる」ことをめあてに、敬老の日に約500人に手紙を書いた。笑顔を届けるために「ごまっ子サロン」も開催した。笑顔を届けるつもりだったが、私たちの方が笑顔や元気ももらった。



●仲安 成雅(園部小)

「大切なことは未来を見据えて考えること。仕事の種類を増やし、人口流出を食い止め、定住促進につなげてはどうか。」

南丹市の人口ビジョンでは40年後には人口が半減し15,000人になるとされている。市議会や税務署の方から話を聞いて話し合った。人口減少を食い止めるために3つの視点「子どもが生まれて育つ町」「やって来なくなる町」「出て行かない、戻って来なくなる町」が大切だと考える。



●福地 愛佳(園部第二小)

「恵まれた自然と美味しい農作物、それを支える農業者が南丹市の宝。」

学校で田植えや稲刈りを体験し、地域の方に「白みそづくり」を教えていただき、栽培や調理を通して楽しさや難しさを実感した。また、ピオラの花の育て方も教えていただき、生命をつなぐ大切さを学んだ。農家の後継者不足や高齢化の問題もあるが地域の方々と一緒に課題意識を持って学びを深めたい。



●加藤 心菜(園部中)

「支えてもらっている地域の方々に、私たちの頑張りを届け、よりよい南丹市を創り上げる力になりたい。」

修学旅行で訪れた長崎と南丹市を比較し、南丹市の魅力について考えた。南丹市には、ホテルの光に包まれる豊かな自然、かやぶきの家々やお城などの魅力的な建物、自然の中でとれる旬の食べ物がある。南丹市が「住み続けたいくなるような温かな町」であるために、私たちが学習や部活動、ボランティア活動等を通して頑張っている姿を見てもらいたい。



●井尻 和希(殿田小)

「殿田には世界に誇れる梅若家の能楽がある。そんな魅力ある日吉をアピールし、継承・発展させていく一人になりたい。」

地元の田原川で地域の方とゴミ拾いを行い、水質調査で良い結果が出た。これからも綺麗な川を引き継いでいきたい。学校で学んだ多治神社の御田という伝統行事では、子どもが減り、行事に参加できる人が足りないと聞き、地域のさまざまな課題についても学んだ。



●猪奥 遥(殿田中)

「無理に南丹市を変えるのではなく、帰りたくなる場所となり、移住者も市民も安心して暮らしていける市になってほしい。」

学校で地域の方や保護者を交えたワークショップを行った。南丹市の魅力を活かして、ふるさとを感じられる市にしていくと同時に、移住者を増やす取り組みが必要である。空き家を活用し、無料で一カ月間、南丹市の生活をお試ししてもらうのはどうか。



●早崎 駿太(美山中)

「子どもから高齢者まで生き生きと暮らせる温かい見守り合いができるまちになってほしい。」

企業支援や誘致をし、安定した雇用の機会が増えたらいい。観光資源や特産品を通して若者が誇りを持って働けるまちづくりを目指してほしい。また、地域の中で必要なものを揃えられるように、買い物をサポートする取り組みや支え合いの体制を整え、子育てをしたいと思える町にしていくことも必要。



西村市長からの総評

皆さんの地域に対する思い入れ、「地域が良くなって欲しい、住みやすくなって欲しい、これからも南丹市が持続して欲しい」という思いが伺えました。

皆さんの発表を聞いて、より一層頑張らなければならないと思います。皆さんの意見を活かしながらし、まちづくりを進めていきたいと思



●松本 瑠夏(八木中)

「八木町を地域のみなさんとともに、今よりもさらに、人と人がつながり、支え合うあたたかい町にしていきたい。」

八木中学校で、あいさつを通して築いてきたつながりの輪を、八木町から南丹市全体に広げたい。八木中学校では、あいさつにワンアクションを取り入れてコミュニケーションを深める「あいさつ+α」の取り組みを行っている。



魅力溢れる南丹市を知って欲しい

「愛されるまちへ」

「南丹市を良くしたい」そんな人の想いが市の魅力を育んできました。そんな想いが巡り合い、さらに多くの方に愛される南丹市を目指します。



果です。人々の愛が評価された結果です。自然を守りつづけてきた理由は、南丹市で自然を愛する人々の愛が評価された結果です。

大盛況となりました。また南丹市が数多くの映画のロケ地として選ばれる理由は、南丹市で自然を守りつづけてきた理由は、南丹市で自然を愛する人々の愛が評価された結果です。

今号で紹介した梅若家の凱旋公演では、地元の人々が力を合わせ、梅若家の皆さんがいつでも帰ってこられる場所として、菩提寺を整備し、梅若家の能を盛り上げ続けてきました。その結果、凱旋公演のチケットは完売し大盛況となりました。

そして忘れてはいけないのが、南丹市への郷土愛を持つ子供達がたくさんいることです。自然を活かし、人とのつながりを大事にして南丹市を住みよいまちにするために共に行動を起こそうとする頼もしい未来の希望が溢れています。

人を愛すると、その人の魅力をもっと知りたいと思うように、南丹市が多くの人に愛され、市の魅力を知りたいと思われる街になることを願っています。何より市民の方々が南丹市の魅力に気づき、誇りと愛を持てるまちになるように、これからも南丹市の魅力を発信していきます。



にゃんたん市プロジェクト公式キャラクターが決定

投票で選ばれたのは「にゃん探」!

南丹市では、「なんたん」と「にゃんたん」の響きが似通っていることから、「猫」をキーワードに、地元企業の皆さんや愛猫家の方など、さまざまな「人」「団体」「企業」と繋がりながら、南丹市を盛り上げるべく、「にゃんたん市プロジェクト」を立ち上げました。

9月8日から9月30日にかけて、本プロジェクトの公式キャラクターを決定する、投票キャンペーンを行いました。

投票は、市職員が製作した、「にゃん探」と「猫丹城」から、公式キャラクターとしてふさわしいと思うものを二者択一で投票いただきました。

開票の結果、票数の多かった「にゃん探」をプロジェクトの公式キャラクターとして決定しました。

投票いただきました皆様、誠にありがとうございました。

投票いただいた方からは、「にゃん探がかっこ良くて、南丹市にあっていい」「子ども達二人

共、にゃん探推しです。猫たちと人が共に暮らしやすい、南丹市になりますように」など、多数の応援メッセージをいただきました。今後は、にゃんたん市プロジェクトや広報誌など、さまざまな場面でにゃん探を登場させる予定です。



▶にゃん探
南丹市の市立探偵。

警察が兜を脱いだ難事件をいくつも解決している。

問い合わせ先 秘書広報課
TEL (0771) 68-0065



インスタグラム

Instagram に写真を載せませんか?



「#なんたんぐらむ」とタグ付けして投稿してください



NANTANGRAM

登録はコチラ



※タグ付けされた写真を広報誌などで紹介させていただく場合があります。



「所中央庁舎が完成」

なんたんタイムズ

Vol.2

市役所中央庁舎が完成



↑全体配置図

南丹市役所は、小学校や法務局の跡施設を活用しているため、市民対応の窓口や庁舎が分散し、バリアフリー対応も不十分で、1・2号庁舎は現行の耐震基準を満たしておらず、有事の際の防災拠点として問題を抱えていました。

そのため、市の財政負担も考慮したうえで、機能的でコンパクトな新しい庁舎の建設と既存庁舎の機能強化を図る「庁舎整備基本計画」を策定し、令和3年度から新しい庁舎の建築に着手しました。

8月末に建築工事が完了。ネットワーク回線などの工事を行い、10月16日から中央庁舎での業務を開始しました。



◆建築概要

- 鉄骨造2階建て
 - 延床面積 2,064㎡
 - 総事業費 11億6,684万円
- 新しい庁舎には、市民課や税務課福祉・保健医療関係の窓口機能を集約し、来庁者の皆さまの利便性向上を図るとともに、防災拠点としての機能を強化しており、その役割も踏まえて「中央庁舎」と命名しました。

◀ 庁舎内部の間取り



【問い合わせ先】

総務課

TEL:(0771)68-0002

南丹市の

気になるワード

「市役

新しい庁舎での業務を開始しました

◆ユニバーサルデザイン

誰にとっても分かりやすく、安全で使いやすい庁舎とするため、思いやり駐車場、多機能トイレ、オストメイト、ベビールーム、キッズスペースを設置。車いす対応のエレベーターは1号庁舎への移動にも利用できます(第2期工事にて対応)。



①ミニキッチンを備えたベビールーム ②おむつ交換台やベビチェアも備えた多機能トイレ ③車いす対応のエレベーター



◆災害対応、環境配慮

大地震等の災害時に庁舎機能を維持しながら、対策活動の拠点とするため、非常用発電機、受水槽、汚水貯留槽などを設置。太陽光発電設備は、庁舎屋上に事業者が設置し、市は使用した電力量に応じて電気料金を支払うPPA(電力販売契約)モデルを活用し、建設事業費も低減を図りました。

◆中央庁舎竣工式を挙行

10月9日、中央庁舎が完成したことから、皆様にお披露目するべく、多くの来賓の方々をお迎えして竣工式を開催しました。



①中央庁舎の完成を記念してテープカットを行う様子 ②感謝状を授与された方々と記念撮影をする西村市長



ここに注目!! モニュメントや看板を高校生が制作!!

中央庁舎は、幕末から明治にかけて大規模な改修が行われた日本最後の城「園部城」の北側に位置しており、建築に先立って行った埋蔵文化財発掘調査でも、大手門につながる土居(どい)や家臣団屋敷の庭園遺構が確認されました。

園部城ゆかりの地に立つ庁舎にふさわしいシンボルとして燈籠型のモニュメントを農芸高等学校と北桑田高等学校に、庁舎看板を園部高等学校に制作いただきました。



↑モニュメントと看板の前で記念撮影をする高校生と西村市長

(5) 級別職員の状況(令和5年4月1日現在)

職員数は、市の給与条例に基づく給料表の級区分によるものです。標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1 級	主事	38人	10.7%
2 級	主事	88人	24.9%
3 級	主査、主任	36人	10.2%
4 級	係長	62人	17.5%
5 級	課長補佐	67人	18.9%
6 級	課長、局長、支所担当長、参事	47人	13.3%
7 級	部長、会計管理者、次長、教育参事、議会事務局長	16人	4.5%
計		354人	100.0%

※ 職員数は、市長、副市長、教育長及び船井郡衛生管理組合への派遣職員を除いた数です。

(6) 職員手当の状況(令和5年4月1日現在)

区分	南丹市	国																										
扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> ●配偶者 6,500円 ●子 10,000円 ●父母等 1人につき 6,500円 ●満16歳～満22歳までの子1人につき 5,000円加算 	南丹市と同じ																										
住居手当	<ul style="list-style-type: none"> ●借家の場合 月額16,000円を超える家賃支払い者に対し、家賃月額により、月額28,000円を限度に支給 	南丹市と同じ																										
通勤手当	<ul style="list-style-type: none"> ●交通機関利用者は、55,000円を限度に全額を支給 ●交通用具利用者は、通勤距離に応じ支給 <table border="1"> <tr> <td>2km以上 5km未満</td> <td>月額 2,000円</td> </tr> <tr> <td>5km以上10km未満</td> <td>月額 4,200円</td> </tr> <tr> <td>10km以上15km未満</td> <td>月額 7,100円</td> </tr> <tr> <td>15km以上20km未満</td> <td>月額10,000円</td> </tr> <tr> <td>20km以上25km未満</td> <td>月額12,900円</td> </tr> <tr> <td>25km以上30km未満</td> <td>月額15,800円</td> </tr> <tr> <td>30km以上35km未満</td> <td>月額18,700円</td> </tr> <tr> <td>35km以上40km未満</td> <td>月額21,600円</td> </tr> <tr> <td>40km以上45km未満</td> <td>月額24,400円</td> </tr> <tr> <td>45km以上50km未満</td> <td>月額26,200円</td> </tr> <tr> <td>50km以上55km未満</td> <td>月額28,000円</td> </tr> <tr> <td>55km以上60km未満</td> <td>月額29,800円</td> </tr> <tr> <td>60km以上</td> <td>月額31,600円</td> </tr> </table>	2km以上 5km未満	月額 2,000円	5km以上10km未満	月額 4,200円	10km以上15km未満	月額 7,100円	15km以上20km未満	月額10,000円	20km以上25km未満	月額12,900円	25km以上30km未満	月額15,800円	30km以上35km未満	月額18,700円	35km以上40km未満	月額21,600円	40km以上45km未満	月額24,400円	45km以上50km未満	月額26,200円	50km以上55km未満	月額28,000円	55km以上60km未満	月額29,800円	60km以上	月額31,600円	南丹市と同じ
2km以上 5km未満	月額 2,000円																											
5km以上10km未満	月額 4,200円																											
10km以上15km未満	月額 7,100円																											
15km以上20km未満	月額10,000円																											
20km以上25km未満	月額12,900円																											
25km以上30km未満	月額15,800円																											
30km以上35km未満	月額18,700円																											
35km以上40km未満	月額21,600円																											
40km以上45km未満	月額24,400円																											
45km以上50km未満	月額26,200円																											
50km以上55km未満	月額28,000円																											
55km以上60km未満	月額29,800円																											
60km以上	月額31,600円																											
管理職手当	<ul style="list-style-type: none"> ●部長級 給料月額の13.0% ●次長級 給料月額の11.0% ●課長級 給料月額の 9.0% 	定額制																										
期末・勤勉手当	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>期末手当</th> <th>勤勉手当</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月期</td> <td>1.2月分 (1.0月分)</td> <td>1.0月分 (1.2月分)</td> <td>2.2月分 (2.2月分)</td> </tr> <tr> <td>12月期</td> <td>1.2月分 (1.0月分)</td> <td>1.0月分 (1.2月分)</td> <td>2.2月分 (2.2月分)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2.4月分 (2.0月分)</td> <td>2.0月分 (2.4月分)</td> <td>4.4月分 (4.4月分)</td> </tr> </tbody> </table> <p>職制上の段階、職務の級などによる加算措置あり ※()内は、管理職員の支給月数です。</p>	区分	期末手当	勤勉手当	合計	6月期	1.2月分 (1.0月分)	1.0月分 (1.2月分)	2.2月分 (2.2月分)	12月期	1.2月分 (1.0月分)	1.0月分 (1.2月分)	2.2月分 (2.2月分)	計	2.4月分 (2.0月分)	2.0月分 (2.4月分)	4.4月分 (4.4月分)	南丹市と同じ										
区分	期末手当	勤勉手当	合計																									
6月期	1.2月分 (1.0月分)	1.0月分 (1.2月分)	2.2月分 (2.2月分)																									
12月期	1.2月分 (1.0月分)	1.0月分 (1.2月分)	2.2月分 (2.2月分)																									
計	2.4月分 (2.0月分)	2.0月分 (2.4月分)	4.4月分 (4.4月分)																									

南丹市職員 給与を公表します

市職員に支給される給与は、国家公務員の給与を参考にしながら、市議会の審議を経て条例や規則によって定められます。

市民の皆さんに、職員の給与などについて理解を深めていただくため、市職員の給与などの実態について令和5年4月1日現在の主な内容を公表します。

(1) 人件費の状況(令和4年度普通会計決算)

住民基本台帳人口 (令和5年3月31日現在)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率 (B/A)
30,242人	23,660,337 千円	861,908 千円	3,988,795 千円	16.8%

※ 人件費には、特別職(常勤および非常勤)・議員に支給される給料・報酬などを含みます。(事業費支弁人件費を含みます。)普通会計とは、地方財政分析上統一的に用いられる会計区分で、一般会計、市営バス運行事業特別会計などの合計です。

(2) 職員給与費の状況(令和5年度普通会計当初予算)

令和5年度の普通会計当初予算に計上された一般職員の給与費の状況は次のとおりです。

職員数 (A)	給与費				1人当たりの 給与額 (B/A)
	給料	職員手当	期末・ 勤勉手当	計(B)	
324人	1,269,647 千円	248,726 千円	487,340 千円	2,005,713 千円	6,190 千円

※ 職員手当には退職手当は含みません。

(3) 職員の平均年齢、平均給料月額および 平均給与月額の状況(令和5年4月1日現在)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	42.3歳	313,461円	405,446円
技能労務職	-	-	-

※ 「平均給料月額」とは、令和5年4月1日現在における基本給の平均です。

「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、通勤手当、住居手当など諸手当の額を合計したものです。

(4) 一般行政職職員の初任給の状況(令和5年4月1日現在)

学校卒業後、ただちに採用された職員の初任給と、その後引き続き2年間勤務したときの給料月額は、次のとおりです。

区分	南丹市		国	
	初任給	2年目経過日	初任給	2年目経過日
大学卒	185,200円	196,900円	185,200円	196,900円
高校卒	154,600円	162,900円	154,600円	162,900円

(8) 職員数の状況(令和5年4月1日現在)

1. 部門別職員数の状況

区 分 部 門	職 員 数		対前年 増減数	
	令和4年度 (令和4年4月1日現在)	令和5年度 (令和5年4月1日現在)		
一般行政部門	議 会	4	4	△4
	総 務	94	90	
	税 務	15	15	
	民 生	89	89	
	衛 生	25	26	1
	農林水産	20	19	△1
	商 工	9	10	1
	土 木	29	29	
小 計	285	282	△3	
特別行 政部門	教 育	35	34	△1
	消 防	-	-	
小 計	35	34	△1	
公営企業等 部門	病 院	9	8	△1
	上 水 道	11	11	
	下 水 道	8	8	
	そ の 他	12	11	△1
小 計	40	38	△2	
合 計	360 [397]	354 [397]	△6	

※ 職員数は、地方公共団体定員管理調査に基づく職員数です。
[]内は、条例定数の合計です。

2. 年齢別職員構成の状況

区 分	職員数(人)			構成比(%)
	男	女		
20歳未満	1	1	0	0.3
20歳～23歳	19	5	14	5.4
24歳～27歳	29	15	14	8.2
28歳～31歳	35	16	19	9.9
32歳～35歳	39	20	19	11.0
36歳～39歳	21	12	9	5.9
40歳～43歳	20	12	8	5.6
44歳～47歳	44	25	19	12.4
48歳～51歳	68	39	29	19.3
52歳～55歳	44	21	23	12.4
56歳～	34	18	16	9.6
合 計	354	184	170	100.0

(9) 定員適正化計画の数値目標及び進捗状況

南丹市では、令和4年4月に第4次「南丹市職員定員適正化計画」を策定しました。これまでから非常に厳しい財政状況の中、市民協働の推進や民間活力の活用など行政のスリム化を進めてきました。今後も、さらなる職員の資質向上、効率的な組織体制の構築を目指し、真に必要な職員数を確保しつつ、また、定年延長制度の導入を考慮しながら、定員の適正化を進めていきます。

1. 定員適正化目標(数・率)

計画期間		数値目標
始 期	終 期	
令和4年4月1日	令和9年4月1日	令和4年4月に360人であった職員総数を、令和9年度末までに「0.8%」にあたる「3人」を削減する。

2. 各年4月1日現在における定員の数値目標と総職員数

(上段:目標値、下段:職員数)*職員数は地方公共団体定員管理調査と同数です。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
360人	360人	360人	359人	359人	357人
360人	354人				

退職手当		自己都合	応募認定退職・定年退職
	勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
	勤続25年	28.0395月分	33.27075月分
	勤続35年	39.7575月分	47.7090月分
	最高限度額	47.7090月分	47.7090月分
・定年前早期退職特例措置あり(2%～30%加算)			

※ 退職手当については、京都市府町村職員退職手当組合に加入しており、同組合の規定による支給率です。

特殊勤務手当	区 分	全職種
	特殊勤務手当予算額	775千円
	職員全体に占める手当支給対象職員の割合	8.59%
	給料総額に対する比率	0.06%
	手当の種類(手当数)	2種類
代表的な手当の名称	伝染病防疫等作業手当・汚物処理作業手当	

※ 令和5年度の普通会計当初予算に計上された一般職員に係る特殊勤務手当の状況です。

(参考) ラスパイレス指数の状況(令和4年4月1日現在)

国	京都府	京都市	南丹市	その他
100.0	99.0	99.0	96.3	府内市平均 99.1 (京都市除く)
				府内市町村平均 98.1 (京都市除く)
				全国市平均 98.7

※ ラスパイレス指数とは、国家公務員の平均給与額を100.0として算定した時の地方公務員の平均給与額の指数です。

(7) 特別職の報酬などの状況(令和5年4月1日現在)

区 分	報酬等月額	期末手当支給割合
市 長	736,000円	6月期1.65月分 12月期1.65月分 計 3.3月分 (加算措置あり)
副 市 長	647,800円	
教 育 長	579,200円	
議 長	470,000円	
副 議 長	415,000円	
常 任 委 員 長	390,000円	
議会運営委員長	390,000円	
議 員	380,000円	

退職手当	区 分	算定方式	支給時期
	市 長	給料月額×任期1年につき530/100	任期毎に支給
	副市長	給料月額×任期1年につき315/100	任期毎に支給
	教育長	給料月額×任期1年につき270/100	任期毎に支給

※ 退職手当については、京都市府町村職員退職手当組合に加入しており、同組合の規定による支給率です。

みんなのひろば

まちの話題を紹介します



▲特設ステージのパフォーマンス

8月19日、サンガスタジアムで、南丹市ホームタウンデーが開催されました。本イベントでは、優待価格で南丹市民がサッカーの試合を観戦できたほか、南丹市の特産品を販売するPRブースやパフォーマンス用の特設ステージが用意されました。

特設ステージでは、園部中学校吹奏楽部が演奏する曲に合わせて、南丹市のチアダンスチームが息の合った踊りを披露。また、試合開始前のスタジアムでは、南丹市スポーツ少年団によるピッチ行進も行われました。参加した小学生は「いつか、自分もここでプレイをしたい」と練習への意気込みを話してくれました。さらに、スタジアム内の大型ビジョンでは南丹市のPRムービーが映し出されるなど、市外から来たサポーターへ南丹市の魅力を大いにアピールできた一日となりました。



▲少年団のピッチ行進の様子

「南丹市の魅力をサンガスタジアムでアピール」

(8月19日 南丹市ホームタウンデー)

「独自のスキルを活かした地域おこし」

(9月1日 令和5年度 南丹市地域おこし協力隊委嘱状交付式)



▲新たな隊員矢野さん(左)と山内さん(右)

9月1日、南丹市役所で令和5年度南丹市地域おこし協力隊委嘱状交付式を開催しました。

今年度は、ファイナンシャルプランナーの資格をもつ矢野さんとフリーライター兼デザイナーの山内さんの2名を隊員として委嘱しました。

2名の隊員からは「南丹市で生活を送る中で豊かな人間関係を築き、自分のスキルを活かして南丹市に貢献したい」と意気込みを話してくれました。

「道志真弓さん、8年間の子育てを語る」

(9月2日 人権講演会「笑顔の戦士～生きているって幸せ～」)



▲講演を行う道志真弓さん

9月2日、園部文化会館で元フリーアナウンサーの道志真弓さんに「笑顔の戦士～生きているって幸せ～」のテーマで講演いただきました。

講演では、14トリソミーという染色体異常で生まれてきた長女の8年間の生涯について「一生懸命に子育てに取り組んだという青春時代を私たち家族にプレゼントしてくれたし、生きていることの大切さを伝えるという使命を持って生まれてきたのだと思う」と話されました。



▲報告会を終え決意を新たにする隊員達

9月10日、南丹市日吉生涯学習センターで南丹市地域おこし協力隊の活動報告会が開かれました。報告会では、吉田元隊員、鈴木隊員、永尾隊員、米澤隊員が自身の一年間の活動を振り返り、報告するとともに、今後の展望を話されました。

また、報告会には9月から新たに委嘱を受けた2名の隊員の自己紹介も行われました。8月31日をもって隊員任期を満了した吉田元隊員は「自由な気風の南丹市の協力隊の制度が自分の成長を促した。今後も南丹市で農業を続けたい」と決意を話されました。

〔9月10日 南丹市地域おこし協力隊の活動報告会〕

「新たな決意胸に、地域おこしの活動を報告」



▲カヤックを楽しむスポーツ少年団の児童

8月27日、京都市るり溪温泉で南丹市スポーツ少年団カヤック・バギー体験交流会が開かれ、スポーツ少年団に所属する複数のチームから25人の小中学生が参加しました。通天湖で行われたカヤック体験では、ペアになった2人の息が合わず上手く進めない場面も見受けられましたが、次第にパドル操作のコツをつかみ湖面を縦横無尽に動き回っていました。

このあとバーベキューやバギー体験が行われ、チームの垣根を越えて楽しいひとときを過ごしました。

〔8月27日 南丹市スポーツ少年団カヤック・バギー体験交流会〕

「スポーツ少年団、カヤック体験で交流」

「南丹市出身の漫画家が小学校訪問」

〔10月5日 Author Visit (著者訪問事業)〕



▲講演をする松本勇氣さん

10月5日、八木東小学校と八木西小学校で、講師に八木町出身の漫画家、松本勇氣さんを迎え、著者と直接交流することにより読書の楽しさや奥深さを伝えるAuthor Visit (著者訪問事業)が行われました。

講演では、漫画を制作する際、初めに本をたくさん読んで調べること等について話されました。また、自身が漫画制作に携わった「マンガふるさとの偉人 ころのゆくへ 井上堰水ものがたり」にふれ、ひとりひとりのところは宝物とメッセージを送られました。



▲交流会で記念撮影をする様子

活躍する南丹市の人びと

市民の皆さんが活躍する南丹市に――。

このコーナーでは、まちづくりにおけるさまざまな分野で活躍される市民の皆さんを紹介します。

全国都市監査委員会表彰

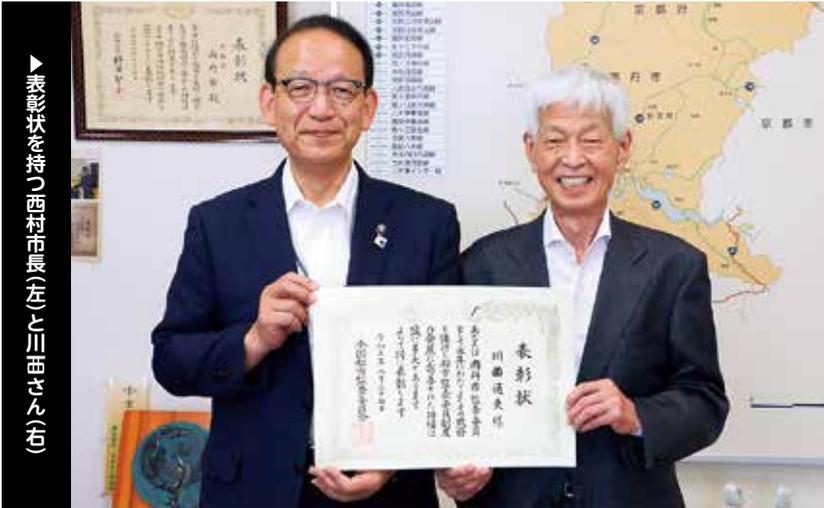
南丹市代表監査委員

川西 通夫さん

(園部町)

川西通夫さんは、南丹市代表監査委員として永年にわたり職務に従事。市民の皆様への公益を守り、効率的な行財政運営の確保、住民福祉の増進のため、常に市民目線による公正な監査を実施されています。

この度、都市監査委員制度の発展に寄与された功績を評価され、全国都市監査委員会から表彰されました。



▶表彰状を持つ西村市長（左）と川西さん（右）

地域おこし協力隊レポート



皆さんこんにちは。南丹市地域おこし協力隊八期の米澤弥央です。早いもので、移住して一年が経ちました。南丹市について多くを知らなかった一年前から、今では市外の方々に自分の言葉で南丹市の魅力を伝えられるようになったのはうれしい変化です。

私は「地域農業の活性化」、「食と農を通じた魅力発信」をテーマに活動しています。一年目は、農業体験や移住定住促進のイベント、南丹市の農作物を使った商品企画などに携わらせていただきました。

今年の2月に行われた農×地域シンポジウム「未来を耕す〜これからの農と地域を考える」(つむぎ・農×地域シンポジウム実行委員会主催)では、会場で流す南丹市の里山風景の動画作成やイベントスタッフとして協力しました。当日は南丹市内外の多くの参加者が混じり合い、一緒に農と地域のこれからについて考えるとても実り多い時間となりました。また「摩気高山の郷振興会」さんが立ち上げられた「摩気の持続する農業を考える集い」に参加し、地域の農業を持続化

させるための話し合いを一緒に進めてきました。現在は摩気地域の農作物を使った特産品の企画を進めています。

9月からは南丹市での協力隊活動も二年目に入りました。今後は、地元の野菜をより知ってもらえるよう、南丹市内での野菜販売の企画や市外への販路拡大の企画も進めています。また引き続き素敵な農家さん紹介を行う予定です。取材を受けてくださる方はぜひお声がけください。



問い合わせ先…米澤隊員
メール chikikokoshi07@cloud.com

なんたんの景観ちょっと情報



【紅葉と景観】

秋も深まり、山々の緑が一転して赤や黄色、オレンジ色に染まる色鮮やかな紅葉から季節の移り変わりを感じます。艶やかに色づいた紅葉と地域の名所との調和が見事な景観を作り出します。

緑豊かな木々が冬への準備として一転する様は、この季節にしか見ることが出来ない絶景です。市内各所で美しい紅葉が見られますので、ぜひ足を運んでみてください。

今回は秋を彩る市内の紅葉を紹介します。

景観の小窓



第51景



(園部町大河内 るり溪)



(八木町美里 西光寺)



(日吉町田原 多治神社)



(美山町檜原 大野ダム)

問い合わせ先
地域振興課
Tel (0771) 68-0019
美山支所総務課
Tel (0771) 68-0040



市ホームページ

※景観条例(計画)の詳細は市ホームページに掲載しています。

南丹市では「景観条例」を制定しており、計画区域内での建築物や工作物の新築・移転、屋根や外壁の塗替え、土地の形質変更や土石等の堆積などを行う場合には、行為の着工30日前までに市への届出が必要です。

市民の皆さんをはじめ、南丹市に関わる多くの方々と一緒に、優れた景観を守り育てていきたいと考えていますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

景観計画区域・美山町地域

届出対象行為は、工事着工の30日前までに市へ届け出てください

みんなで描こう

協働のキャンバス 72

地域のさらなる活性化を目指して！

新庄郷育館の活動

昨年漫画本が作成された井上堰水先生によってつくられた新庄小学校は、平成27年3月、地域とともにあゆみが続けてきたその歴史に幕を閉じ、「新庄郷育館」(南丹市新庄地域活性化センター)として生まれ変わりました。新庄郷育館は八木町の山室、諸畑、池上、室橋、船枝区から構成される新庄地域振興会が管理運営を行っています。戸数32戸、人口91人。高齢化率43%です。



▶井上堰水先生が題材となった漫画本



▶井上堰水講演会



▶新庄夏まつり

同館は、地域活性の拠点施設で「人づくりと居場所づくりが郷づくりになること」を基本コンセプトとし開館しました。「人を育み」「自然を育み」「安心な暮らしを育み」、子ども・若者・中高年齢者・男女を問わず安心、安全な、人の温かみがわかる、活気あふれる地域づくりを実現することを目指しています。

教室や体育館、運動場などが利用可能で、教室は日ごとの予約だけでなく、一定期間を専有することが可能になっており、現在もいくつかの市民団体等が利用されています。

「地域活性化活動の紹介」八木地域編

そのほか「収穫祭」かやの杜市、子どもたち向け「サマーキャンプ」、「サロン」などのイベントを年間を通じて行なっています。地域にある豊かな自然と人々とのつながりを大切にしたいイベントを通じて新庄という場所を知り、地域の人たちを知ることができます。今年の夏には初企画「新庄夏まつり」を開催しました。

新庄郷育館は、将来を見据え少しずつ動き出そうとしているところです。これからもさらに地域内外の人たちで手を取り合い、共に大切な環境を守っていくために、新庄に住んでいる人、関わってくださっている人、これから住む人、周囲のみなさん、たくさんの方たちの手をお借りし、大切な地域を維持していくために運営を頑張っています。



『天体観測会』
～大盛況、星の神秘を味わった30人の子どもたち～

地域でお手伝いできることがあれば、ぜひお声をかけてください。
問い合わせ先 集落支援員室
Tel(0771)68-0108

南丹市観光協会連絡会だより

ベスト・ツーリズム・ビレッジ 認定地間の意見交換実施

9月12日～13日に、南丹市美山町内にてニセコ町・美山町の意見交換会を行いました。

ベスト・ツーリズム・ビレッジ（以下、BTV）は、2021年にUNWTO（国連世界観光機関）によるプロジェクトで、持続可能な開発目標（SDGs）に沿って文化資源の振興と保全、持続可能な開発に取り組んでいる地域を認定する取り組みです。特に、観光を通じて、地域の景観、知恵、生物・文化の多様性、産業といった地域が持つ様々な側面の価値の向上・保護を促進することを目指し、地域の優良事例を集めることを目的としています。

現在は、世界76地域が認定され、日本からは北海道ニセコ町と南丹市美山町の2地域が認定されています。ニセコ町と美山町は、認定後、それぞれの地域へ実際に訪れ、関係者との顔合わせや、ネットでの会議を重ねながら相互理解と意見交換を行い、共通パンフレット

やファイルの作成、道の駅での双方の商品紹介など行ってきました。今回は、大学生に対してBTVや持続可能な観光の取り組みに関する講義、道の駅間での取り組みに対する意見交換のほか、今後増えるであろうBTV認定地域間との交流や共同事業を行う枠組みづくりや認知向上のための取り組みを行うことが確認されました。

持続可能な観光（UNWTO）賞の受賞

第7回ジャパン・ツーリズム・アワードにおいて、一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会の活動が持続可能な観光地域経営のモデル的な取組として評価され、持続可能な観光（UNWTO）賞を受賞しました。



▲表彰される美山DMOの中川幸雄代表理事(右) ツーリズムEXPOジャパン2023

八木町観光協会30周年記念

木喰まつり

9月30日～10月6日に八木町観光協会が設立30周年を記念して木喰まつりを開催しました。

初日にはピアノとヴァイオリンによるオープニング演奏をはじめ、清源寺の住職さんによるお話や河井寛次郎記念館学芸員の鷲珠江氏による講演が行われました。市内外から75人が参加し真剣に耳を傾け、木喰の歴史について学びました。

また、10月1日には木喰上人ゆかりの清源寺で行われた「木喰ほほえみ寄席」では40人が参加しました。参加者は羅漢堂に安置された22躰の「微笑仏」をお参りし、先住職大島清音師猷立表から再現した昔懐かしい弁当を楽しみました。その後、南丹亭百笑さんらの落語やマジックリンさんの手品が披露され、会場は笑顔でいっぱいになりました。



▲木喰寄席の行われた清源寺での様子

南丹市 インスタグラム フォトコンテスト

2023年7月・8月 優秀賞発表
テーマ「私の大切な場所」



作品名：「涼を求めて深山へ」
撮影場所：(園部町)るり溪 深山
撮影者：saya_o9o3



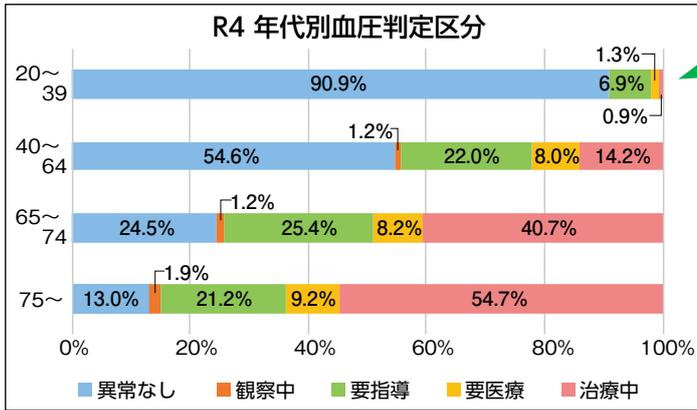
作品名：「夕焼けの見える散歩道」
撮影場所：八木町吉富
撮影者：nokonokogogo



作品名：「もうすぐ七夕」
撮影場所：(美山町)かやぶきの里
撮影者：haruhanafusa



▲南丹市フォトコンテスト
テーマ「ここに残る風景」
への応募もお待ちしております。



▲R4年度市民健診集団健診結果より

年代が上がる毎に、異常なしの割合が減少しています。できるだけ若い時期から、血圧を正常に保つことが大切です。

高血圧 対策してますか？

なんたん 健康で幸せなまちづくりのために

高血圧の基準

	収縮期血圧	拡張期血圧
家庭血圧	135 mmHg以上	85 mmHg以上
診察室血圧	140 mmHg以上	90 mmHg以上

あなたの血圧、大丈夫？



高血圧予防のために大切なこと【運動と減塩】

南丹市民の皆さんは、「健幸ポイント事業」に参加することで、**歩く習慣**づくりを気軽に始めることができます。

一方で**減塩**は、普段の食生活で意識はしていても、なかなか食塩摂取の目標量の達成は難しいのが現状です。

新たな対策「カリウムで塩を出す」

ナトカリ先生として知られる京都府立大学の奥田奈賀子教授は、減塩とともに高血圧対策として**カリウム**を取って身体の中の**塩を出す**ことを提唱されています。次のような対策を提案いただきました。

野菜・果物の高血圧予防ミネラル＝「カリウム」

高血圧予防のために大切な生活習慣、ご存じですか？

減塩、適度な運動、お酒は適量まで、肥満の方は適度な減量を！そして**「野菜・果物をたっぷり食べる」**ことも高血圧予防に有効です。

野菜・果物がなぜ高血圧予防によいか？それは「高血圧予防ミネラル『カリウム』がたっぷり含まれている」からです。



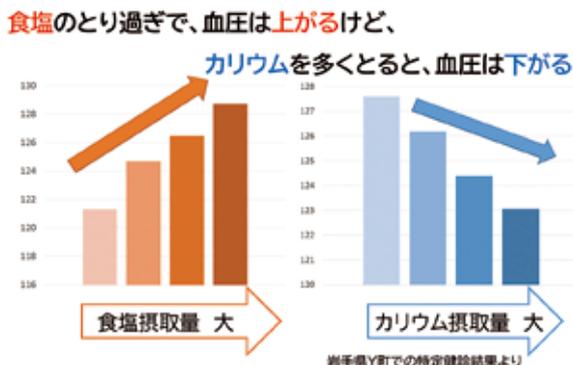
京都府立大学生命環境学部 食保健学科 奥田 奈賀子 教授

高血圧予防にカリウムをプラス！

たっぷりカリウムで高血圧予防

「カリウムをたくさん取ると血圧が下がる」ことは30年以上前から世界中の研究で明らかにされてきました。

高血圧予防と言えば「まず減塩」ですが、外食やお惣菜利用が増えている最近では、むしろ難しくなっています。そこで、注目をあびているのが**「カリウムを増やす」**ことです。「減塩とともに、カリウムを増やす」ことで、**より高血圧予防効果**をパワーアップできるのです。



▲ カリウムは高血圧予防ミネラル

「減塩にカリウムプラス」で、
高血圧を予防しましょう！

カリウムって？

カリウムは、私たちの「細胞の中」に多く含まれる必須ミネラルです。肥料の三大要素

(チッソ・リン酸・カリ)の一つで、植物の生長にも欠かせません。

カリウムは、私たちの体の中では「食塩(ナトリウム)とは逆の働き」をして、摂りすぎたナトリウムを体外に排出するのを助けてくれます。

色々な食品から

カリウムを

カリウムは、野菜・果物だけでなく、豆腐など大豆製品、牛乳・ヨーグルト、肉や魚にも含まれています。
めん類だけ、井物

カリウムKたっぷりの食事は、畑、海、牧場の幸いっぱいの食事です

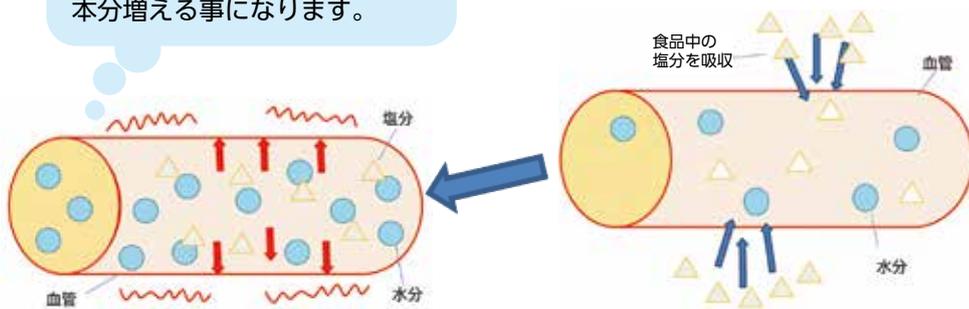


だけなど穀類に偏った食事を避け、畑の幸、海の幸、牛乳、お肉などいろいろなものを食べることで、カリウムを体の中にたくさん取り込むことができます。
※カリウム制限を指示されている方は、主治医にご相談ください。

余分にとった塩はどっくに？

人間の身体には、血液の塩分濃度を一定に保とうとする働きがあります。塩辛い物を食べると喉が渇くのは、上がった塩分濃度を下げようとするためです。

塩分を取りすぎると、血液中の塩分濃度を薄めようと血管内に水を取り込んで血液量が増えます。



塩1gで水125mlが増えるので、塩4gだとおおよそペットボトル1本分増える事になります。

血液量が増えされると、心臓は血液をより強く送り出さなければならず、血管に強い圧がかかることで血圧が上がります。

↓
余分な水分を身体から排出するため、腎臓の仕事量が増えます。

口から食べた塩(ナトリウム)と高血圧予防ミネラル(カリウム)の摂取量の比は、少しの量の尿で簡単に検査できます。

南丹市の健康教室等に参加いただくと検査を受けることができ、高血圧の予防に役立てられます。



問い合わせ先 保健医療課
TEL (0771) 68-0016

「ええやん！」

夫、やってみよう！」です。失敗しても大丈夫という安心感や空気感を大事にすることで、失敗を恐れず苦手なことや新しいことにも挑戦してみようという気持ちを育てています。

6月の人権旬間では、今年度のスローガンについてお話を聞いた後、それに基づいて、各学級で人権目標と取組を設定し、校内放送や掲示物で知らせました。また、5・6年生の委員会活動では、人権の曲アンケータを取ったり、人権の本の読み聞かせを行ったりするなど様々な取組を児童が考えて行いました。人権旬間後には、各学級での振り返りと取組を通して考えたことなどを、人権まとめ集会で全校の前で発表しました。



「ええやん」は、美山小学校の合言葉です。美山小学校では、自分や友達の好きなこと・得意なことを認め合い、大切にすると同時に、失敗を恐れず「まずはやってみよう」という美山小学校のグラウンドデザインとも関連させ、「ええやん」を合言葉に人権学習を行っていま

友達「ええやん」を見つけて伝えられてよかった、「ええやん」と言われて嬉しかった等、普段何気なく発している言葉を改めて噛みしめる機会となりました。

人権のスローガンとして設定された「ええやん」は、人権旬間が終わってからも授業中や休み時間等、あちこちから聞こえてきます。今まで何気なく発していた言葉も人権旬間を通して、思いをのせて伝えるようになったのではないかと思います。子どもたちにとって安心できる楽しい学校になるよう、今後も引き続き、全教育活動を通して人権教育に取り組み、「ええやん」があふれる美山小学校を目指していきます。



▲人権まとめ集会の様子

南丹市立美山小学校

人権担当

谷 夏希

ふ・れ・あ・い



—第63回—

ひとりで悩まないで！

DV(ドメスティック・バイオレンス)「配偶者や恋人など親密な関係にある者からの暴力」で被害者は、多くの場合女性です。DVは女性の人権を著しく侵害する重大な問題で、調査結果等から多くの人が被害を受けていることがわかります。しかし、DVを受けている女性の半数近くが「相談するほどのことではない」「自分にも非がある」として、我慢している場合があります。DVはエスカレートすることがほとんどで、「我慢すればいつかは収まる」ということはありません。あなたの家族や友達がDVで悩んでいたなら、「よく話してくれただね」という姿勢で受け止め、ひとりで悩まず専門の窓口にご相談するようすすめてください

い。

毎年、11月12日から25日まで「女性に対する暴力をなくす運動」の期間です。この期間中に、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパールリボンにちなんで、施設等を紫色にライトアップする、(パール・ライトアップ)が実施されています。これには、「ひとりで悩まず、まずは相談をしてください。」というメッセージが込められています。

南丹市では、園部城跡の城門と国際交流会館をシンボルカラーの紫色でライトアップしています。

(人権政策課)

- 京都府の相談窓口
京都府家庭支援総合センター
・9:00~20:00(DV相談専用075-531-9910)
- 京都府男女共同参画センター らら京都
・月~土曜日(祝日、年末年始除く)
10:00~12:00、13:00~19:00
(075-692-3437)
- 南丹市の相談窓口
市役所人権政策課 女性相談
・毎月第2・第4水曜日
14:00~16:00 (予約0771-68-0015)



イメージキャラクター「なびっと」

本の返却期限のお知らせについて

「ご存じですか?残しておく便利なレシート」

図書館では本の貸出の際、「返却のお知らせ」のレシートをお渡ししています。このレシートには、本のタイトル別に返却期限を記入しており、いつまでにどの本を返せば良いかがわかります。

また、レシートの書名には◇マークが付いています。◇マークが付いている本が、貸出期間延長済みの本に

はマークが表示されません。次に予約が入っている本には★マークが表示されます。貸出期間の延長について、既に一度延長した本や次に予約が入っている本は延長できません。小さなレシートですが色々な情報が詰まっています。ぜひ、ご活用ください。

新刊紹介

『コグニのはじまり』

著者：いとう ひろし
発行：あすなる書房



真っ白な霧の中。ここがどこなのか?どこから来たのかわからないけれど、ただひたすら歩き続けます。たどり着いた先には何があるのでしょうか?「人の誕生」を描いた不思議なお話です。

『旬で食べる!野菜の12カ月』
スーパーのカリスマバイヤー直伝!

著者：青髪 の テツ
発行：大和出版



スーパーのカリスマバイヤーが、旬の野菜を使ったレシピや栄養成分・調理のコツ等、おいしい旬の野菜の魅力、余すところなく紹介しています。

暮らしと



—第88回—
消費生活情報

不用品買い取りのほが、貴金属を買い取られた!

事例 「どんなものでもいいから女性用衣類を売ってほしい」と女性から電話があり、来訪を承諾した。後日来訪があり、着物類を見せたが「アクセサリーや金貨はないか」と男性にせかされ、慌てて叔母の形見や亡夫からもらった指輪などの貴金属を出した。すると合計1200円の明細書とお金を渡され、物品を持ち帰られた。貴金属を出してしまったことを後悔している。取り戻したい。(70歳代女性)



★ひとこと助言★

●不用品買い取り事業者が、突然に訪問して買い取りを勧誘したり、事前に承諾していない物品を売るように要求したりする

ことは禁止されています。

●売るつもりのない貴金属等の売却を迫られても、貴金属を見せず、きっぱり断りましょう。

●売却した場合は、必ず契約書を受け取り、すぐに物品の種類、買い取り価格、業者の名称、連絡先などを確認しましょう。

●買い取り業者の訪問を受ける場合は、一人では対応せず、できるだけ信頼できる人に同席してもらいましょう。

●売却しても、クーリング・オフの8日間は、物品の引渡を拒むことができます。

一人で悩まずご相談ください

●商品やサービス購入でお困りごと、不審に思うことがあります。したら迷わずにご相談ください。

お気軽にご相談ください

- 消費者ホットライン
TEL188(いややー)
- 南丹市消費生活相談窓口
TEL(0771)68-0100
月曜・火曜・金曜(祝日は休み)
午前9時～午後4時
- 京丹波町消費生活相談窓口
TEL(0771)82-3803
水曜・木曜(祝日は休み)
午前9時30分～午後4時

(商工課)

堰水好日 えんすい

市長コラム

◆「普通の教師は、言わなければならぬことを喋る。良い教師は、わかりやすいように解説する。優れた教師は、自らやってみせる。そして、本当に偉大な教師は、子どもの心に火をつける。」学校の先生なら知っている方も多い言葉。20世紀アメリカの教育者ウィリアム・アーサー・ウォードの名言である。

◆園部町内にお住いの百歳に近い一人の女性元小学校教師A先生が昨年天寿を全うされた。現役の時や退職後も彼女は多くの児童や卒業生に愛され尊敬された。ウォードのいう「偉大な教師」であった。彼女の数多くの教え子の一人が私である。

◆今から60年余り前の話である。私たちのクラスにはKという北朝鮮国籍の同級生の少女がいた。Kの親は近くの発電所建設の元労働者として同じ地域に住んでいたが、極めて貧しい家庭であった。当時は「朝鮮人」差別がひどかったが、A先生はKが辛い思いをしないよう小学校や家庭での生活に気配りをしていたようであった。

◆確か三年生の時に大阪方面だったと思うが日帰り旅行があった。旅行の日が近づくにつれKの表情は暗くなった。旅行費用やお弁当の準備など見通しが立たなかったのか。旅行を欠席すると予想された。

◆旅行当日、出発の小学校にKの姿があった。

みんなは色とりどりのバッグや水筒を持っていたが、Kは風呂敷包みを下げていた。でも、とてもうれしそうに顔をしていた。そしてこの旅行が終わった後でわかったことだが、A先生がお弁当を作りおやつを添えて、そっと風呂敷包みをKにわたしていた。おそらく旅行費用もA先生が負担されたのだろう。

◆これを知った時、クラス全員の心が震えた。目に涙を浮かべる者もいた。「思いやり」をはるかに超えたA先生の強い信念が伝わってきた。国籍や貧富の差など境遇はどんなに違おうとも、子どもたちは等しく大切にされねばならないという信念を小学生なりに理解した。因みに翌年Kの家族は、在日朝鮮人の帰還事業により北朝鮮に帰国し、その後の消息は全く分からない。

◆様々な問題の結果として不登校、いじめ、学力問題など困難な課題に南丹市の教育現場などの多くの教師や職員が立ち向かっていた。子どもたちは先生がどう考え動くか見ている。むつかしいが教師の思い(信念)をどう伝え、子どもたちの心を揺さぶるのか。こんなことを考えるとき、いつもA先生のことを思い出す。



▲帝釈天境内のフヨウ

南丹市長 西村良平

編集後記

日毎に寒気加わる時節となりました。秋はイベントが多く、広報では取材に行く機会が増えました。

今号では、映画上映会に映画キャストの方々が、南丹市に駆けつけてくださいました。

私が制作した南丹市のうちわも快く持ってください、南丹市を盛り上げようと想っていたにている気持ちを感じました。

梅若家の凱旋公演では、人間国宝である梅若実桜雪さんが、挨拶の中で「故郷に戻って参りました」と話されていたことが大変印象的でした。

取材の中で、さまざまな人との出会いがあり、協力をいただく中で、広報誌が発行できることに深く感謝をすることも、より一層いい誌面を制作できるように努力したいです。



●総人口：30,187人(-13)
(男：14,668人・女：15,519人) (±0)
●世帯数：14,404世帯(+12)
(令和5年10月1日現在) ()内は前月比



市の花 さくら 市の木 ふな 市の鳥 オオルリ

森・里・街・ひとがきらめくふるさと 南丹市 なんたんし

広報 **なんたん**

編集・発行：南丹市役所 市長公室秘書広報課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0065 FAX:0771-63-0653
URL:https://www.city.nantan.kyoto.jp/www/
e-mail:hisyo@city.nantan.lg.jp



本紙は環境への配慮から、FSC®森林認証紙、ベジタブルインク(植物油)を採用しています。